

第3回 ドローン教室「ドローンを飛ばそう！」



上手に飛ばせるようになりました

いろいろ体験くらぶ第3回 ドローン教室「ドローンを飛ばそう！」を8月10日に多目的研修集会施設大ホールで福島工業高等専門学校の出前講座として開催しました。

当日は、ビジネスコミュニケーション学科の芥川一則教授のほか多くの学生の皆さんにご指導いただきました。

初めてドローンに触れる子どもも多く、真剣に操作について学んでいま

た。参加した子どもたちは、自分の手で操作をしてドローンを飛ばすことができるようになり、楽しい思い出をつくることができましたようです。



福島高専の皆さんと記念撮影



手のひら着地成功！

第4回 「ピザをつくってみよう！」



おいしそうなピザの完成

いろいろ体験くらぶ第4回「ピザをつくってみよう！」を8月21日に開催しました。

町内でイタリアンレストランを営む橋本寿一さんに店内でご指導いただき、本格的なピザづくりに挑戦しました。

まずは二つのグループに分かれ、200グラムずつに計量してピザ生地をついたり、薪窯の火起こしをしたり交互に体験をしました。

その後ピザ生地を伸ばし、その上にトマトソースとチーズとバジルをトッピングしました。橋本さんと一緒に薪窯で焼き上げ、みごとに「ピッツァマルゲリータ」ができました。

最後に橋本さんから子どもたちに「計量達人」「生地伸ばし名人」「火起こし名人」などと書かれた「修了証」が手渡されました。



橋本さんと記念撮影



上手に焼けるかな

夏やすみ小学生がいろいろ体験！！

この夏、町では小学生を対象に「いろいろ体験くらぶ」を開講しました。これは、子どもたちに多種多様な体験の場を設けることにより、広い視野をもった人材の育成と青少年の健全育成を目的に開講したものです。

家族と一緒に参加する講座もあり、いろいろな体験をとらして家族や参加者同士の交流を深めることができました。講座に参加した子どもたちからは、「楽しかった」「また参加したい」などの感想が寄せられ、楽しい夏休みの思い出をつくることができましたようです。

第1回「モッツアレラチーズをつくってみよう！」

いろいろ体験くらぶ第1回「モッツアレラチーズをつくってみよう！」を8月2日、勤労青少年ホーム調理室で開催しました。

材料に町産の生乳を使用することで、地元の食材の魅力を知ってもらい、また乳酸菌による「発酵の力」について

体験し、楽しみながら学びました。

児童・保護者が協力しながら、チーズの形を整えたり、できたチーズが割ける様子を観察したり、実際に食べてそのおいしさを感じたりと、それぞれに気づきや学びがあった様子でした。



完成したチーズを持って記念撮影



食べやすい大きさにカット



チーズを折りたたみながら伸ばしていきます

第2回 親子木工教室「スパイスBOXをつくってみよう！」

いろいろ体験くらぶ第2回 親子木工教室「スパイスBOXをつくってみよう！」を8月6日、多目的研修集会施設大ホールで開催しました。

この事業は県の森林環境交付金を活用したもので、県産の間伐材を利用して木工作品を制作することで、森林の恵みに触れ、森林の必要性を学習することを目的に開催しました。

小野町建築家具組合の指導のもと、今年度はスパイスBOXを制作しました。

参加者からは、「クギを打つのがとても楽しかった」「難しかったが作れたのがうれしかった」「子どもと物を作ることができてとても楽しい時間になった」などの声が聞かれました。



完成したスパイスBOXと参加した皆さんで記念撮影



小野町放課後子ども教室

放課後子ども教室は、児童が放課後などを安全・安心に過ごし、地域住民などの参画を得て多様な体験・活動を行う事業です。

小野町放課後子ども教室は、小野小学校の特別教室や多目的研修集会施設を利用し、1年生から4年生までの約100人が活動しています。

活動時は、町が委嘱した地域の方やシルバー人材センターの皆さんがサポーターとなり、教室での活動支援や下校時のスクールバス乗車までの見守りなどを行っています。

今年度は、スポーツ教室や読み聞かせ会のほか、市川進先生(上羽出庭)による太極拳教室を開催しました。また寿大学との交流活動でちぎり絵教室も行う予定です。

なお地域との交流活動にご協力いただけるボランティアや団体を募集しています。詳しくは、子育て支援課(☎72-2212)までお問い合わせください。



一時預かり事業



一時預かり事業では、こども園や保育園、幼稚園に通っていない満1歳から就学前までのお子さんを対象にお預かりしています。園庭でのびのび遊んだり、夏場はテラスで水遊びなどをして過ごしています。

初めてお母さんから離れるお子さんも多いですが、小さな集団の中で子ども同士の関わりを楽しんでいます。

■利用方法：広報6月号をご覧ください。(町ウェブサイトからもご覧になれます)

■場所：子育て世代包括支援センター分館(旧夏井おおすぎ保育園)

地域子育て支援拠点事業(親子の教室)のご案内

町では子育て支援課キッズルームや子育て世代包括支援センター分館(旧夏井おおすぎ保育園)を会場に親子で参加できる教室を開催しています。

親子で一緒に遊んだり、参加者同士の交流を楽しんだり、子育ての相談にも応じていますので、お気軽にご参加ください。

各教室については次のとおりです。

事業名	対象	内容
ママのリフレッシュ教室	産前産後、子育て中のお母さん	リラックス効果や妊娠出産に伴う骨盤のゆがみや腰痛などの症状を和らげる効果がある体操や呼吸法を行います。
親子ふれあい教室	就学前のお子さんとその家族	おもちゃの制作や参加者同士の交流を行います。ベビーマッサージを実施する時もありますので、赤ちゃんと一緒に参加もお待ちしております。
幼児のわくわくタイム		運動遊びや制作、参加者同士の交流を行います。屋内での遊びだけではなく、外での活動も予定しています。

※参加希望の方は、P22をご覧ください子育て支援課にお申し込みください。

児童館施設(放課後児童クラブ等)を整備

町では、「放課後児童クラブ等施設整備基本構想」を令和5年3月に策定し、児童館施設(放課後児童クラブ等)の整備を進めています。

児童館施設は、18歳未満のすべての子どもを対象とし、地域における遊びおよび生活の援助と子育て支援を行い、子どもの心身を育成し、情操を豊かにすることを目的とした施設です。児童館施設では、放課後児童クラブ以外にも、さまざまな子育て支援事業を実施していく予定です。

現在は、建設地となる旧中央さくら保育園・旧小野わかば幼稚園跡地の地質調査と並行し、施設の基本設計を行っています。

【施設で行う主な事業】

- 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)
- 子どもの居場所づくり事業(第3の居場所)
- 一時預かり事業
- 地域子育て支援拠点事業(親子の教室など)
- 発達支援事業(すくすく発達教室・相談事業など)

【施設整備予定】

- 令和5年度 基本設計・実施設計
- 令和6年度 建築工事等
- 令和7年度 施設供用開始

☎子育て支援課 ☎72-2212



小野町放課後児童クラブ

小野町放課後児童クラブでは、一日を過ごす夏休みを利用して、いろいろな体験をしました。

じゃがいも掘りは、昨年に引き続き吉田公平さん(谷津作)にご協力いただきました。子どもたちは、大きなじゃがいもを掘り起こすたびに大歓声を上げ、自分が掘ったじゃがいもを見せ合い喜びを分かち合っていました。

また小野町社会福祉協議会の「子どもの居場所づくり事業」では、小野町更生保護女性会(宗像ミエ子会長)や小野町ライオンズクラブ(西牧裕司会長)の皆さんにもご協力いただき、昼食の提供がありました。4回目となる今回は流しそうめんを体験し、楽しみながらいつもよりたくさん食べていました。

夏休みの最後には、西牧陽子さん(小野山神)に自家製スイカをいただき、スイカ割り大会を行いました。学年対抗のチーム戦とし、協力し合いながら大いに盛り上がりました。

そのほかにも、サッカー教室や夏まつりなど、子どもたちは全力で楽しみ、夏を満喫しました。



中学生の目線で堂々と質問 令和5年度小野町中学生議会開催

小野町中学生議会が7月21日、役場議場で開かれ、小野中学校の3年生6人が中学生議会議員として一般質問を行いました。

中学生議会は小野町の将来を担う中学生が、自分の夢や希望を織り交ぜながら町長や町当局に対して質問や提案を行い、町政や町議会への関心や理解を深め、中学生の視点からの意見を今後のまちづくりに反映させることを目的として開催したものです。

令和元年度までは小学生を対象とした子ども議会を開催していましたが、今回初めて中学生を対象に開催しました。

矢内陽人さんが議長を務め、中学生議員がそれぞれ若者・子育て世代の移住・定住に関する事、旧小学校跡地利用に関する事、町特産品販売に関する事などについて、堂々と質問をしました。

中学生議員の質問に対し、町長が一人ひとりに丁寧に答弁を行い、貴重な意見をいただいたことに対し感謝の言葉を述べました。

最後に中学生議会議長の矢内さんが「どの意見も小野町が好きだからこそ出てきたものだと思います。本日参加した中学生の皆さん、小野町のちよつとしたことを疑問に思えるような視点をもち、今後はその『ちよつとした疑問』をキーワードにこの町を良くしていきたいと思います。小野中学生の意見が反映され、より良い方向へと向かっていくことを願っています」と感想を述べて閉会しました。

最後に中学生議会議長の矢内さんが「どの意見も小野町が好きだからこそ出てきたものだと思います。本日参加した中学生の皆さん、小野町のちよつとしたことを疑問に思えるような視点をもち、今後はその『ちよつとした疑問』をキーワードにこの町を良くしていきたいと思います。小野中学生の意見が反映され、より良い方向へと向かっていくことを願っています」と感想を述べて閉会しました。



中学生議会議員と質問内容

議席番号	議員名(ふりがな)	質問内容	議席番号	議員名(ふりがな)	質問内容
1番	しま はるき 議員 (3年3組)	若年層、子育て世代移住・定住について	5番	よしだ まさたか 議員 (3年1組)	街路灯の設置について
2番	むらかみ つばさ 議員 (3年1組)	旧小学校跡地利用について	6番	ねもと なおき 議員 (3年1組)	道路の幅が狭いことについて
3番	あいた ここみ 議員 (3年2組)	小野町特産品販売について	7番	やない はると 議長 (3年3組)	※議長(会議の進行)
4番	たてかわ ゆな 議員 (3年2組)	大人も楽しめる施設整備について			

おのまち 地域おこし協力隊活動記

CM大賞で賞を取りに行きます!



から始めました。企画段階では4つのアイデアを出して最終的には2つの案に絞られ、2つの映像を制作し最終審議をする運びとなりました。1カ月と少しの制作期間できちんとした映像を2本制作するのは異例のスピード感を要求されるなと思いました。ですが、1つの挑戦だと思っ取り組みました。

当初の4つのアイデアは次のとおりです。「1200年の夫婦愛」これは諏訪神社の翁スギ熾スギを舞台にした案です。「羅漢像でひとこと」これはさまざまな表情の羅漢像を使い、ひとこと言って大喜利をするような案です。「通販番組風に小野町を紹介」これは深夜の通販番組でバラエティ風なコンセプトで小野町を紹介する案です。「小野高校さようなら」これは残念ながら統合が決まった小野高校の思い出を振り返る案です。

時期的にまだ統合はしないので、今回は採用しませんでした。当初の案は右記のような感じですが、この後の絵コンテや実際の撮影、編集段階でアイデアが浮かび、原案から変わった作品もあります。どの作品がエントリーされたかはWeb投票が8月21日から始まっていますので、KFBのウェブサイトをご覧ください。協

今回は前回と違い、企画段階から近い方々と会議をしていくところ

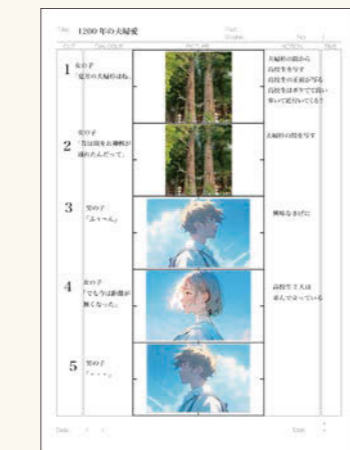


力隊のSNSでも報告します。今回、2作品制作することになりましたが、最終審議で選ばれなかった1作品は、協力隊のSNSなど何からの媒体で公開を考えていますので、ぜひ楽しみにしていただけるとうれしいです。

制作した2作品をすでにいろいろな方に見ていただいて感想をもらいました。「インパクトがあるのは○○だよね」「○○は町民の方々が喜んでくれそう」などのご感想をいただいています。町内で私を見かけたら感想を教えてください。次の制作に生かします。

タイトルにあるとおり、今回のエントリー作品は何かしらの賞が取れる作品だと思います。根拠はありません。自分の中で確信したのは撮影が終わり、編集している段階で思いました。手応えのようなものがありました。撮影の直後、すぐに編集し

たので撮影の熱がそのままあったのかもしれない。そして思い返してみると、エントリー作品には企画の段階からストーリー性もあり、当初から映像の画が想像できていました。この記事が出てくるころには映像も公開されていると思います。ぜひご覧いただいで、Web投票もご参加いただくとうれしいです。



今回の担当は...



山田 淳輝 隊員
担当/情報発信分野
主な活動場所/
つどっておのまち